

新・知内町史

Ⅲ

懐かしい地元の追想

写真と年表でつづる知内

懐かしい地元の追想

- ◆ 発刊の辞——知内町長 大野幸孝
- ◆ 『新・知内町史』編集方針——編集長 根本直樹

◆ はじめに

- 【写真編】懐かしいふる里の記憶 7
- 【年表編】懐かしい「地元の追想」 59

[凡例]

- 1 【写真編】は、明治時代から平成に至る写真・図を、テーマを立てて掲載しました。
- 2 【年表編】について
 - (1) 知内に関わる内容はより大きな活字で示し、他に道南、北海道、日本、世界の動きについて適宜記しました。
 - (2) 配列は各年の初めに月日不明の出来事を掲載し、その次に1月から順次記述しました。各月はまず日にち不明の出来事を掲載し、その次に日にち順で記述しました。典拠のあるものは[]で示しました。
 - (3) 本文の表記は原則として常用漢字、現代仮名遣いとし、歴史的用語・学術用語・人名等はこれに従わなかったものもあります。保健婦と保健師など現在と異なる名称は、史料の価値を優先して当時使用されていた名称のままとしました。敬称はいかなる場合でも省略しました。
 - (4) 知内の始まりについては「北海道巡回紀行」に拠りました。これは、1886(明治19)年4月から6月にかけて、当時北海道庁理事官であった青江秀あおえひいづが函館支庁管内を巡回したときの記録(の写本)です。ここには、旧家雷公神社祠掌大野重敬の祖先にふれた文章が記載されているので、引用して年表に記載しました。
 - (5) 歴代首長について、今までに発行された『知内町史』や『知内の歩み』『町勢要覧』等に不備な点があったことが判明したので、修正して掲載しました。
- 3 本分冊は主として高橋豊彦が編集に当たり、多くの方々の助力を得ました。ここに感謝申し上げます。